



「つくろう! 田園新潟」

くしだ修平

2015年
春号

ご挨拶

政令市新潟は大合併して10年、政令市となって8年が経過しようとしております。

平成二十七年はポスト合併建設計画や新総合計画初年度として、正に新たなステージを迎える大変重要な年度であります。いよいよ政令市としての本領を発揮し、新たな政令市新潟の方向性を指し示す劈頭の年度として、平成の大合併を乗り越え、オール新潟の底力を引き出し新潟新時代を切り開かなければなりません。

そのためには、国や県とも連携を強化し、政令市新潟の地歩を固めなければなりません。アベノミクスの真価が問われ、地方創生の「まち・ひと・しごと創生」の実効性が問われる新年度予算でもあります。

しかしながら、健全財政の立場から見ると財政運営は厳しい状況となっております。

基金の取り崩しや、市債・臨時財政対策債の残高は増える一方です。

昨年の平成25年度決算では、一般会計や特別会計の市債残高に加えて臨時財政対策債残高を合算すると、一兆円に迫る借金財政となっております。このことから、監査委員より「身の丈に合った財政運営を」との強いメッセージが届けられています。よって議会のチェック機能が益々重要な新年度となります。以上の課題を市民の皆様と共有しながら市政発展の為全力で頑張ります。

平成二十七年三月

新潟市議会議員

串田 修平

平成27年度 新潟市議会2月・3月定例会 **<新総合計画初年度>**
27年度予算約3,645億円が可決!
 にいがた未来ビジョンに基づき3大重点課題プロジェクトに取り組む

今年二月一八日より開催されました二月定例会におきまして、平成二十七年当初予算が可決されました。予算額は約三、六四五億円と対前年比△一八億円、△〇・五%となりました。歳出内容については、三大重点課題プロジェクトの推進を基本に編成されています。

① 市民と地域が学び高め合う、安心協働都市

超高齢・少子社会に対応し、地域の力を最大限に活かした「新たな支え合いの仕組み」を構築します。

主な重点予算

- 公共下水道の整備 一九〇億〇、〇〇〇万円
- 道路・橋りょうの維持補修 四四億〇、五九四万円
- 学校耐震補強事業 三四億三、〇一〇万円
- 消防局・中央消防署移転新築 三二億四、七〇〇万円
- 新潟中央環状道路の整備 三二億二、一〇〇万円
- 小学校改築事業 二〇億九、〇八〇万円

② 田園と都市が織りなす、環境健康都市

「農業特区」効果と大地の力を最大限に活かして、日本で初の「十二次産業化」を推進します。

主な重点予算

- 新潟駅周辺地区の整備 七九億二、五五三万円
- 都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間の創造 五億〇、九一〇万円
- 生活交通の確保・維持 三億九、九三三万円
- マンガ・アニメを活かしたまちづくり 一億五、五三三万円
- がんばるまちなか支援事業 一億四、二〇〇万円
- 鉄道文化の魅力発信 一億〇、〇〇〇万円
- みなと新潟「光の響演」 八、五〇〇万円

③ 日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市

本州日本海側のセンターに位置する特徴を最大限に活かし、新潟を「防災・救援首都」とし、モノ交流の

センターにします。

主な重点予算

- 農業・農村の多面的機能の維持・発揮 一九億五、九九一万円
- 企業立地等緊急対策事業 四億一、三〇〇万円
- 田んぼフル活用の促進 四億〇、四〇七万円
- がんばる農家支援事業 三億四、〇四〇万円
- 中小企業開業資金 三億三、一一六万円
- 東アジア文化都市の推進 二億六、〇一〇万円
- 国家戦略特区の推進 一億六、六九〇万円

江南区予算概要

自然環境や伝統文化などの江南区の魅力や地域資源の活用を進めるとともに、さまざまな情報を発信することにより交流人口の拡大と地域活性化を図ります。また、健康づくりや子育て支援などの福祉の充実、そして地域防災力の向上などに重点を置いて、区民と協働で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

主な重点予算

- ◎ 特色ある区づくり事業 四〇〇万円
- 文化芸術の創造・発信 三五〇万円
- 「魅力ぎっしり江南区」の創造と発信 三一〇万円
- 自転車区めぐり環境の整備推進 三〇〇万円
- 江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 二〇〇万円
- 防災意識の高い地域づくりの推進 一六〇万円
- 健康は自分でつくる宝物の推進 一五〇万円
- ほっとスマイル!親子ふれあい応援 一四〇万円
- 交通の利便性を活かした区づくり 一二〇万円
- 未来へつなごう!中高生「やりたいこと」応援プロジェクト 一〇〇万円
- かけがえのない命を守ろう 一〇〇万円
- 江南区自殺予防事業 一〇〇万円
- 食文化創造の推進 七〇万円
- 江南区一斉環境美化活動 七〇万円



2015年2月～3月定例議会(新潟市政クラブを代表して)



串田修平市議の代表質問内容

質問項目	串田修平市議の質問抜粋・要旨	新潟市側の回答要旨
1. 新年度(平成27年度)予算について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新潟市政クラブの要望をどう反映したのか ② 新総合計画との整合性はどうか ③ 拠点化推進、産業基盤整備の目玉は何か ④ 財政健全化の取り組みは 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 新潟市政クラブの要望をしっかりと受けとめ、財政健全化と地域経済の活性化を図れるよう本市の財政目標を定めるとともに、経済対策を盛り込んだ2月補正と一体的に編成を行いました。 ➡ 市議会や市民の皆様と共につくり上げた次期総合計画「にいがた未来ビジョン」に掲げる3つの都市像の実現に向けた取り組みを進めます。 ➡ 日本海ゲートウェイ機能の強化等平時における拠点性を高め、「防災・救援首都」としての本市の機能強化を図るとともに、強靱な国土づくりへの役割を果たしていきます。 ➡ 持続可能な財政運営を確立していく必要があります。その為平成28年度から収支均衡を図るとともに、市債残高については平成28年度から減少させ平成34年度までに3,800億以下に縮減することを目標として掲げました。 <p style="text-align: right;">【市長】</p>
2. 人口減少問題、少子高齢対策の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 雇用拡大のための企業誘致の具体策は ② こども医療費の助成と財源確保について ③ 地域包括ケアシステムの構築について ④ 介護報酬引き下げと介護員の処遇改善について ⑤ 出会い触れ合いの場づくりの取り組みについて 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 4業種の集積に向けて取り組んで来たが、ニューフードバレー構想の推進や、航空機産業の戦略的複合共同工場の整備等企業誘致に積極的に取り組みます。 ➡ 制度の拡充には多額の財政負担を必要とします。通院助成を小学6年生まで、入院助成を高校3年生まで拡充します。県の補助金は自由度のある交付金とすることで合意しました。 ➡ 構築にあたっては、健康寿命の延伸を図るため、介護予防の取り組みを充実させ、在宅で医療と介護が受けられる基盤整備を進めます。 ➡ 介護報酬改定率は全体としてマイナス2.27%ですが、介護職員の処遇改善についての改定率は、プラス1.65%となっています。本市として適正な処遇改善計画の策定や加算の算定について指導していきます。 ➡ 少子化の要因として未婚化や晩婚化もその一つと考えます。出会いのきっかけづくりや、若者の結婚への動機づけをはじめ、多様な婚活支援団体を支援し出会いの場づくりを進めていきたいと考えています。 <p style="text-align: right;">【市長】</p>
3. 農業政策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 国家戦略特区(農業特区)について <ul style="list-style-type: none"> ア 今後の追加規制緩和の見通しについて イ 大規模稲作経営の新農業法人の動向について ウ 耕作放棄地の取り組みについて ② 新潟農業の産地継続のための施策について <ul style="list-style-type: none"> ア 中規模稲作と施設園芸ハウスの持続可能策は 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ ア 本市特区では、追加規制緩和として農業生産法人の出資要件の緩和、一体的な保税地域の設置推進、農業ベンチャーに係る外国人材の受入れ等5項目を追加提案している。外国人材などの受入れや法人税の優遇措置が認められました。 ➡ イ 新たな農業生産法人であるローソンファーム新潟を設立する計画です。当初の経営面積は数haありますが、将来的には100ha程度まで拡大したいとしています。 ➡ ウ 新潟クボタが西区内の耕作放棄地を活用した小麦栽培を今年度から始めるなど地域から歓迎される取り組みが始まっています。参入意向を示した企業を耕作放棄地に誘導するなど、その解消に努めていきます。 ➡ ア 中規模農家が食料生産や農村地域を維持するうえで重要な役割を果たしていると認識しています。がんばる農家支援事業の対象要件である認定農家や経営規模の制限を無くします。また、施設園芸ハウスの長寿化を図り、既存施設の有効利用を促進します。 <p style="text-align: right;">【市長】</p>
4. 公共交通の今後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 第2期導入区間(弁天線)の今後の取り組みは ② 新たな交通システム導入検討委員会の提言の取り扱いについて 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 市民病院やいくとびあ食花など多様な施設が立地している鳥屋野湯南部地区へ延伸し、その後基幹交通軸を環状に結びます。第2期導入区間における公共交通の強化の必要性を市民の皆様と理解して頂き、マイカーからの転換を図ります。 ➡ BRT開業後の更なる展開については、開業後の状況の把握や検証を行い評価委員会を通じて改善に努めていきます。市民の皆様や有識者など広く意見をいただきながら十分な検討を行っていきます。 <p style="text-align: right;">【市長】</p>
5. 教育課題について	<ul style="list-style-type: none"> ① 新教育委員会制度について ② いじめ・不登校の解消策は ③ 災害時の非常配備体制のマニュアルについて ④ 薬物乱用の取り組みについて 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 総合教育会議の運営について必要な事項は会議の場で協議調整し、開催頻度や運営方法についても会議で決定します。教育大綱策定についてはすでに教育ビジョンを策定しており、教育大綱になるものと考えています。 ➡ 学校、家庭、市民の連携によるいじめの防止や重大事態発生時の調査など、市民や市長部局との連携を視野にいれた仕組みづくりを進めてきました。新年度からは、これまでの連携に加え、総合教育会議の場で協議することも可能となります。不登校についても福祉や医療などとの連携が重要になってきており、教育委員会と市長部局とがよりの確に連携できるようにしていきたいと考えています。 ➡ 教育委員会では、学校班応急対応マニュアルを作成して、各校・園への周知徹底を図っています。避難所開設時においても、施設管理、被災者の安全確保、運営体制づくりの初期判断においては、管理職の参集が必要と考えます。初期対応後は、職員の交代などにより、教職員の本来の業務である学校運営に支障をきたさないよう配慮しています。 ➡ 小学校において、平成25年度に学校薬剤師や警察職員などの外部講師を招いて、薬物乱用防止教室を実施した学校は、113校中62校(55パーセント)ありました。専門家による薬物乱用防止教室の効果について校長会で紹介するなど、働きかけていきたいと考えています。 <p style="text-align: right;">【教育長】</p>
6. 選挙管理委員会について	<ul style="list-style-type: none"> ① 総選挙における4区十二前地区の公営ポスター掲示場の周知について ② 国政選挙における個人演説会会場の取り扱いについて 	<ul style="list-style-type: none"> ➡ お尋ねの十二前地区は第4区に属し、有権者7人と規模が小さいことから、公営ポスター掲示場を1基のみ設置しています。第4区に属する各市区町選挙管理委員会の作成した公営ポスター掲示場一覧表を交付し、周知を図っています。各市区町選挙管理委員会で公営ポスター掲示場の位置図を作成し、立候補事前審査を終えた候補者にお渡ししています。 ➡ これらの施設は、施設本来の目的に沿って活用されることが前提であり、貸館業務を行っている施設で、あらかじめ市民から予約が入っている場合、その予定を変更させてまで、個人演説会を優先的に開催させることは、残念ながら市民の皆様のご理解を得にくいものと考えています。今後とも利用できる会場の拡充を図り、個人演説会開催機会の確保に努めます。 <p style="text-align: right;">【選挙管理委員会委員長】</p>

◆江南区の人口 69,363人/25,913世帯 (うち男性33,631人・女性35,732人) ※平成27年2月末現在

編集発行 **新潟市議会議員・くしだ 修平 事務所** TEL: 025-383-2288
 〒950-0202 新潟市江南区藤山1丁目385-2 FAX: 025-383-2289
 Mail: kushida_sh_0707@topaz.plala.or.jp



新潟東スマートインター(仮称)の早期完成を!